

製品名: NUDC (リン酸化 Ser326) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05127**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量 | 45kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | NUDC |
| 別名 | NUDC; Nuclear migration protein nudC; Nuclear distribution protein C homolog |
| 遺伝子 ID | 10726.0 |
| SwissProt ID | Q9Y266 |
| 免疫原 | 抗血清は、Ser326 のリン酸化部位周辺のヒト NudC 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 282-331 |

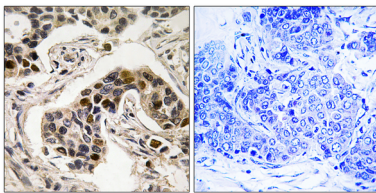
背景

この遺伝子は、有糸分裂および細胞質分裂に必須の役割を果たす核分配タンパク質をコードしています。コードされているタンパク

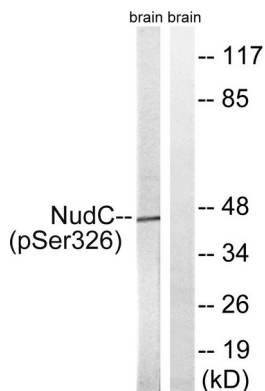
質は、有糸分裂中の紡錘体形成と細胞質分裂中の微小管組織化に関与しています。この遺伝子の擬似遺伝子は 2 番染色体上にあります。[RefSeq 提供、2012 年 2 月]機能:神経発生および神経細胞の移動に関与します (類似性による)。有糸分裂中の紡錘体の正しい形成と染色体分離に必要です。細胞質分裂および細胞増殖に必要です。誘導:活発に分裂している造血前駆細胞でアップレギュレーションされます。培養された赤白血病 TF-1 細胞では、顆粒球マクロファージコロニー刺激因子によってアップレギュレーションされます。赤血球前駆細胞の成熟中に強くダウンレギュレーションされます。PTM:細胞周期の M 期にセリン残基が可逆的にリン酸化されます。Ser-274 および Ser-326 のリン酸化は、有糸分裂紡錘体の正しい形成と有糸分裂中の染色体分離に必要です。PLK およびその他のキナーゼによってリン酸化されます。類似性: nudC ファミリーに属します。類似性: 1 つの CS ドメインを含みます。細胞内局在: 遊走性小脳顆粒細胞の核に隣接して糸状パターンを形成します。チューブリンおよびダイニン、ならびに微小管形成中心と共局在します。非遊走性細胞の細胞質全体に分布します。少量は核内に点状パターンを形成します。サブユニット: PLK1 に結合します。PAFAH1B1 に結合します (類似性による)。PLK1、NUDC、ダイニン、およびダイナクチンを含む複合体の一部です。組織特異性: 遍在性。胎児の肝臓、腎臓、肺、脳で高発現しています。成人の脾臓、腎臓、骨格筋、肝臓、肺、胎盤、前立腺、脳、心臓でも高発現しています。

研究分野

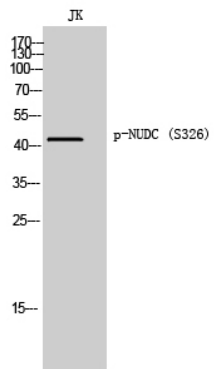
画像データ



NudC (リン酸化 Ser326) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



NudC (リン酸化 Ser326) 抗体を用いたラット脳ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 NUDC (S326) ポリクローナル抗体を用いた JK 細胞のウェスタンブロット解析